

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	不十分なところがあり、改善に取り組んでいる
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった
教育理念	学生の将来への第一歩として、コミュニケーションの道具として使える日本語と日本の習慣を身につけさせ、各自の可能性を広げ、国際的に活躍できる人材を育成することによって社会に貢献する。		
教育目標	学生が希望進路に進むことを目標として、それに必要な日本語力、他者と交流できる能力を身につけさせ、一人一人に親身になって細かい進学指導・生活指導を行う。		
育成する人間像	日本語学習をきっかけに、他国の文化を理解し、多文化社会に適応し、日本国内や世界において国籍を問わず信頼される、世界の将来を担う人材を育成する。		
点検・評価項目		評価	コメント
1 学校運営			
(1) 学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしている。	A	告示基準どおりに学校運営を進めている。	
(2) 教育理念や目的・目標に沿った運営方針や事業計画が策定されている。	A	教育活動方針を全教職員で協議の上で決定している。	
(3) 情報システム化等による業務の効率化が図られている。	A	業務そのものに時間を取られず、学生の指導に時間が使えるよう電子化を進めている。	
(4) 教員の指導力向上や幅広い知識吸収のための研修を常に行っている。	A	外部セミナー情報の共有と、学期末に工夫点と改善点を発表し合う場を設けている。	
(5) 学生の安全確保に十分配慮されている。	A	防災講話や防災訓練に取り組み、緊急時のマニュアルを作っている。	
2 教育活動			
(1) 学生レベルを学期ごとに判断し、レベルに応じた教育課程が編成されている。	A	毎学期成績を共有し、進級・落第を決め、適切なレベルで学習できるようにしている。	
(2) 学生の授業評価の実施・評価体制ができています。	A	学校、教員に関する評価を各担当に渡し、さらに教員への指導も行う。	
(3) 学生の評価を示し、自己の課題を把握させて解決に努めるよう促す。	A	毎学期、成績通知表を配布し、改善を促している。	
3 学生支援			
(1) 健康診断の実施、体調不良時の病院への帯同等による学生の健康管理や交通規則、アルバイトの遵守指導等による日本での生活指導などへの支援体制が整備されている。	A	生活指導の手引きを作成し、法令を遵守するよう促すとともに、病気の場合に病院への帯同が可能なスタッフが常駐している。	
(2) 学生の自己実現を図るための指導体制ができています。	A	進路セミナーや進学説明会への参加、個人面談を実施して各人の自己実現を図っている。	
4 学生の募集と受け入れ			
(1) 学生の募集活動は適正に行われている。	A	学生選考は面接を行い、学生の支弁能力や意欲を中心に公平に選考している。	
(2) 適切な定員設定及び在籍者数になっている。	A	法に定められた定員・在籍者数を厳守し、必要に応じて補習も行っている。	
5 法令の遵守			
(1) 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	A	法務省から適正校として認可されており、変更時等は遅滞なく報告している。	
(2) 個人情報の保護の取組、自己点検の実施と改善及び公開を適切に行っている。	A	個人情報保護の管理体制の整備を進めている。	
6 社会貢献			
(1) 学生の教育資源や施設を利用した社会貢献を行っている。	A	区内の小中学校訪問等、積極的に外部と交流している。	
(2) 学生のボランティア活動への支援を行っている。	B	近所の清掃を行うことがある。今後も再開を考えている。	